

大山町所子(鳥取県)

(1) 保存地区の概要

- (地区名) 大山町所子
- (種別) 農村集落
- (面積) 約25.8ヘクタール
- (選定年月日) 平成25年12月27日
- (特徴)

大山町所子伝統的建造物群保存地区は、集落内を通る道に主軸方向を沿わせた主屋、その周囲に建てられた長屋門、蔵、納屋、厩舎などの諸施設が配されている。

それらの建物には、近世から昭和30年頃までに建築された伝統的な建築物等が多く残され、鳥取県伯耆地方の農村の伝統的な形式をよく伝えている。

また賀茂神社北正面の「神さんの通り道」と呼ばれる帯状の空間を挟んで、所子の「カミ」「シモ」の家屋群が位置する集落形態は、所子集落において歴史的に形成された個性的な景観となっている。それらの周囲に位置する近世以降の地割を伝える田畑、農家の敷地や田畑周りを縦横に巡る水路等が家屋群と一体となって、伝統的な農村景観を形成している。



所子散策MAP

① 所子神社
所子神社は、所子地区の中心に位置し、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。所子神社の境内には、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。所子神社の境内には、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。

② 所子小学校
所子小学校は、所子地区の中心に位置し、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。所子小学校の境内には、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。所子小学校の境内には、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。

③ 所子地区の歴史
所子地区の歴史は、所子地区の中心に位置し、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。所子地区の歴史は、所子地区の中心に位置し、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。所子地区の歴史は、所子地区の中心に位置し、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。

④ 所子地区の文化財
所子地区の文化財は、所子地区の中心に位置し、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。所子地区の文化財は、所子地区の中心に位置し、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。所子地区の文化財は、所子地区の中心に位置し、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。

⑤ 所子地区の景観
所子地区の景観は、所子地区の中心に位置し、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。所子地区の景観は、所子地区の中心に位置し、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。所子地区の景観は、所子地区の中心に位置し、所子地区の歴史を伝える重要な文化財である。

(2) 保存地区のあゆみ

- 平成22年 1月 伝建制度にかかる住民説明会開催
- 平成22年 8月 第一次保存対策調査終了、報告会開催
- 平成22年 9月 『伝統的建造物群保存対策調査報告書』刊行
- 平成22年12月 地元住民が「所子伝建委員会」を設立
- 平成24年12月 大山町伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則制定
- 平成25年 1月 大山町伝統的建造物群保存地区保存条例制定
- 平成25年 5月 大山町伝統的建造物群保存地区保存審議会規則制定
- 平成25年 5月 第1回 大山町伝統的建造物群保存地区保存審議会開催
- 平成25年12月 官報告示「重要伝統的建造物群保存地区」選定
- 平成26年11月 国重要文化財「門脇家住宅」一般公開と併せて町並み保存会によるまち歩き散策ガイド開始
- 平成27年 3月 重伝建選定一周年記念シンポジウム開催
- 平成28年 4月 所子伝統的建造物群保存地区が構成文化財の一つとして「日本遺産」認定
- 令和 3年11月 所子伝統的建造物群保存地区トイレ完成
- 令和 5年10月 日本建築学会中国支部主催シンポジウム開催
- 令和 5年11月 10周年関連事業 第1弾「所子伝建地区の10年を振り返る」
- 令和 6年 3月 10周年関連事業 第2弾「所子伝建のこれからを考える」

(3) 保存地区の保存と整備

主な整備状況

(令和6～7年度) 修 理 1件

修 景 0件

(修理事業の例)



部分解体



(修景事業の例)

(伝建地区トイレ設置:見学者の利用)



(新築修景:単町事業)

伝建地区内には、見学者用のトイレが無く不便であったが、見学者駐車場に面して、木造平屋建てを令和3年11月に設置した。これ以降、バスや一般見学者への利用に役立っている。

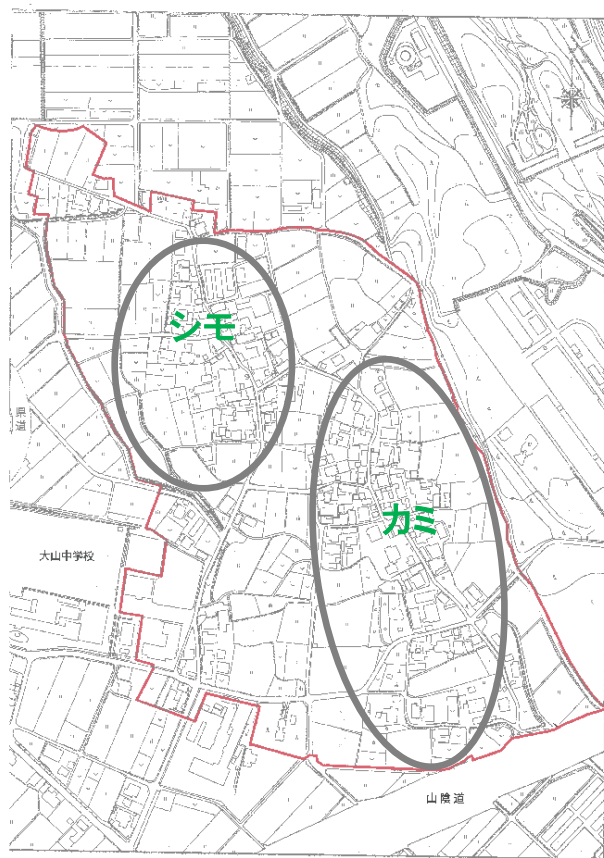


(修理後)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

(主な特徴)

- ・平地農村型で**カミ・シモ**の家屋群及び近世以降の地割を伝える田畑から構成されている。
- ・農業を生業とした特徴ある伝統的建造物が、周囲の農地及び水路と一体となって歴史的風致を形成し良く残されている。



圃場整備前(昭和44年)

圃場整備後(平成21年)

(日本遺産とまちづくり)

- ・古くから大山道沿いの所子伝統的建造物群保存地区では、母屋に近い小屋で農耕や運搬など生活に欠かせなかった牛馬が大切に飼われていた。地区内には「駒繋ぎ石」や「牛馬万人供養塔」などが残存し、このような「牛馬信仰」と全ての生命を救ってくださる地蔵菩薩(牛馬の無病息災を祈願する対象)への信仰が結びつき、育てた牛馬を各方面から引き連れ大山道を通して大山寺詣りをした。大山寺が牛馬市を庇護したことで市が大きく発展したストーリー「地蔵信仰 が育んだ日本最大の大山牛馬市」となっている。平成28年4月に「**日本遺産**」として認定され、広く知られるところとなった。現在では、牛馬の運搬や農耕は車や鉄道、耕運機へと変わりましたが、厩舎の外観など当時の面影を残している。

(ボランティアガイドの活動)

地区内では、「所子町並み保存会」の会員が中心となりボランティアガイドが行われている。

活動としては、春と秋に行われる国重要文化財「門脇家住宅」一般公開期間中と随時申込があったときに、見学者の人数に応じて地区内のガイドをしている。



ボランティアガイド
の活動の様子



平成28年4月の「日本遺産」認定、平成30年に「大山開山1300年祭」以降、所子地区にも多くの来訪者が訪れるようになった。今後更にボランティアガイド活動の必要性も増してくるが想定されるため、保存会でも人材の確保とガイドの知識向上の取り組みが課題となっている。

(5) 住民等の取組み

(地区住民の取組み)

地区内では「盆踊り」、「賽の神さん」、「とんどさん」などの年中行事が現在 もとりおこなわれている。住民憲章のなかに網羅しているように「自然の景観と先人たちが営々と築いた歴史文化」を誇りとされており、地区内の人々が主体となって伝統的な農村集落の歴史的風致が保全され、育まれていく取組みがなされている。



賽の神さん

(町並み保存会会長)

長年、所子に住んでいると、当たり前を感じていることでも来訪者の皆様は、感動的に所子について語ってくださいます。

例えば、

- ・水路の水は、豊富で、きれい。
- ・水路は緩やかに勾配があり、サラサラと水が流れる音が聞こえる。
- ・大きな民家や屋敷地の納屋、生垣、塀、ツカイガワ(洗い場)が見られ、農村の魅力が凝縮している。
- ・南に雄大な大山、西に日本海が見える場所に位置し、信仰の空間が息づいている。(賀茂神社と関連した神さんの通り道や大山寺詣りに利用した坊領道【大山道】)、集落の入口にある六地藏など)
- ・保存地区周辺 近くに若い人達がたくさん住み始めている。等々。

伝建選定を受けて10年経ちましたが、来訪者から教わることが多いです。今後も所子の良い所にたくさん気付いていきたいです。